

【学校内科医 齋藤先生への質問】

【感染症について】

○インフルエンザや新型コロナウイルス感染症が広がっているときは、自分に風邪症状等ない場合でもマスクをしていた方がよいでしょうか。

⇒マスクやフェイスシールドの効果、日常生活とマスクの資料【別添資料】にもあるように、吐き出し飛沫量・吸い込み飛沫量を100%とすると、マスクを着用、特に不織布マスク着用すると、吐き出し飛沫量が20%、吸い込み飛沫量が30%で吐き出すウイルスも吸い込むウイルスも抑えられ、マスク着用は一定程度の効果があると言えます。ただ、日常生活とマスク【別添資料】にあるように、感染リスクが大きい時期や状態の場合はどんなにマスクをしていても感染症にかかる可能性があります。

感染症流行期の前は、手洗い・うがいはもちろん、換気、マスクの着用をした方がよいでしょう。また、先生方も大きな発声をするときはマスク着用した方がよいと思います。

○感覚過敏や息苦しさにより、マスクを長時間つけることができない児童生徒が多く、手洗い・うがい、部屋の換気を行っていても風邪がうつってしまい、大人・子ども関係なく広がっているように思います。咳や鼻水が出ている児童生徒は、感覚過敏があってもマスクをした方がよいでしょうか。それとも、他の感染症予防方法はありますでしょうか。

⇒感覚過敏等がある児童生徒については、無理をしすぎる必要はないです（マスクの効果は一定なので）。他の対策（換気や手洗い・うがい）で予防をしてください。

○インフルエンザ対策として、「うがいは効果がない。むしろ、うがいで飛散するからよろしくない。」とテレビで放送されていたのですが、これは事実なのでしょうか？

⇒うがいだけでウイルスを吐き出せるわけではなく、それよりも口腔内をきれいにしたり、粘膜を潤す効果（湿潤効果）があるので、うがいは行った方がよいと思います。

また、うがいをして吐き出した飛沫から感染することはそうそうにない（インフルエンザに罹患した状態でのうがいはリスクがある）ので、普段の状態ならばうがいは行った方がよいと思います。

○新型コロナウイルス感染症の検査キットについて質問です。

現在、ネットや店舗などで様々な種類の検査キットが販売されていますが、もし新型コロナウイルス感染疑いで市販の検査キット検査する場合、検査キットの種類に関わらず、どんな新株でも陽性反応はでるのでしょうか。検査キットが新株に対応しておらず、陰性反応がでるというケースはあるのでしょうか。

⇒現在、新型コロナウイルス感染症の診断に使われているキットはSARS-CoV2で、COVID-19自体が変異していますが、過去5年間は変異があっても検出されており、多少の変異であれば今の検査キットで検出されます。新型の新型が出れば、それはまた大騒ぎになり、検出方法も変わってくることになると思います。

【その他】

○爪が長くて切りたいが、怖がってしまい切らせてもらえません。どうすればよいでしょうか？また、切りすぎてしまったときに気をつけるべきことがあれば教えてください。

⇒感覚過敏があるお子さんはハンドクリームを塗るだけでも嫌がるほど過敏である子がいます。そのような場合は、寝ている間に爪切りしたり、最低限だけでもよいと思います。切りすぎてしまっても、いずれ伸びてきますので、出血や化膿等がなければ問題ありません。それでも切れない場合やひどく化膿してしまった場合は、病院で診てもらうのもよいと思います。

【学校歯科医 印南先生への質問】

○これまで虫歯がなかったこともあり、未だにまともに歯医者にかかったことがありません。慣れるようになるには歯医者に通うしか方法はないのでしょうか？

⇒むし歯の有無に関わらず、定期的に歯科健診を受ける“かかりつけ歯科医”を持つことが重要だと考えます。小さな頃から診ていれば予想がつき、治療等を進めることができます。ですが何らかの治療が必要となった時に、口を開けてくれないなど非協力的であると、治療はおろか診断をすることすら出来ません。平常時から“かかりつけ歯科医”とのコミュニケーションを築き、そこでの治療が困難であった場合に、病院歯科や専門医等を紹介してもらえるようにしておくことが大切です。

○教員が仕上げ磨きを行おうとすると、歯ブラシを噛んでしまう、あるいは歯ブラシから距離をとってしまって歯みがきできません。なにか対策はありますか。また、ブクブクうがい、洗口液だけ行うという形でもよいのでしょうか？

⇒仕上げ磨きが困難な児童、生徒に対して、無理に歯磨きをしようとすることは避けてください。歯ブラシによる突き刺し事故を招く可能性があります。ブクブクうぐいは出来るようですので、食後の洗口のみで対応してください（口をゆすぐだけでも効果はあります）。この際、特に薬用の洗口液を使う必要はありません。水道水で十分です。

○本校の高等部生でGO（歯周疾患要観察者）に該当する生徒が多く感じます。以前、他校の養護教諭から「思春期になると、ホルモンバランスの関係で歯肉炎になりやすい」と聞いたのですが、歯肉の状態とホルモンバランスが関係することはあるのでしょうか？

⇒ホルモンバランスの影響を受けて発症する歯周病として代表的なものとして「思春期 性歯肉炎」や「妊娠性歯肉炎」が挙げられます。一般的に女性ホルモンが増加すると、歯周病菌が増殖しやすく、歯周組織の炎症を悪化させることがわかっています。ただ、GOに該当する生徒がホルモンバランスによる影響を受けているとは言えません。

※ 印南先生より、GOに関する資料を提供くださいましたので、そちらも御覧ください。

○視力が弱くなり眼科に行ったが、椅子に座れず検査して貰えませんでした。他に発達障害児を診てくれる眼科や耳鼻科や歯科の情報有れば知りたいです。

⇒栃木県のホームページに「栃木県障がい者歯科医療システム図（次ページ図）」と「栃木県 障がい者歯科医療協力医名簿」が掲載されていますのでご参照ください。

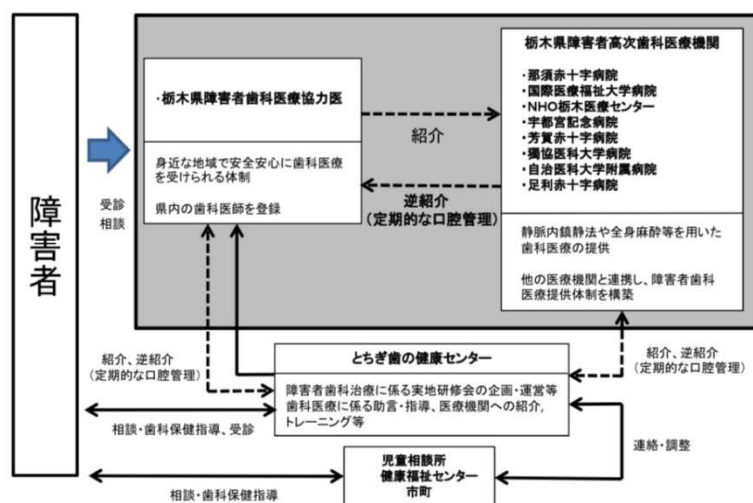
また、印南先生より、全身麻酔歯科治療を行っている歯科医療機関のパンフレットを数枚いただきました。限りがありますが、御興味のある方は担任を通して保健室まで御連絡ください。

【全身麻酔歯科治療の医療機関】

○ 医療法人 文光会 スペシャルニーズセンター（さくら市氏家 2765-5）

○ やまうち歯科小児歯科 親と子のデンタルクリニック（宇都宮市本町 1-19 佐藤ビル 4 階）

栃木県障害者歯科医療システム



【学校薬剤師 松本先生への質問】

○手洗いは欠かせないのですが、手をしっかり拭けないので寒い時期は手荒れが酷くなります。水分を弾くようなハンドクリームを塗ってあげればいいのでしょうか？衛生的な事も心配です。

⇒手荒れについて、手が濡れた状態でハンドクリームを塗布すると雑菌が増えます。手洗いや手を拭く練習が必要です。また、ハンカチは不衛生になりやすいため、一日2枚持参すると衛生的に良いです。

○学校では、感染症対策として常時換気もしくは30分に1回程度の換気を行っています。冬になると、教室が乾燥して加湿器を使いますが、どうしても感染予防できるとされる40%に届きません。どのような方法であれば教室等の湿度を上げることができますか？

⇒加湿について、湿度が40～60%を保たなければウイルスが活性化してしまう。40%に届かないようであれば、部屋に2台(前と後ろ)加湿器を設置するしかないと思います。

換気について、室温や16～20℃が基本。休み時間に対角線上の窓を開ける程度で良いと思います。また、加湿器を衛生的に保つため、週に1回程度、洗浄する方が良いです。加湿器を洗浄しないと70～80%の割合でカビが発生します。

学校保健に関する御意見【その他について】

①感染症（マスクについて）

○マスクは今後も強制しないでほしいです。

○インフルエンザやコロナはクラス単位で出た事だけを、HP で出さなくても口頭や連絡帳などで知らせて欲しいです。

○身近でインフルエンザなどの感染症が出た場合は教えて頂きたいです。

○感染拡大防止の為インフルエンザが落ち着くまでマスクをして欲しい。

⇒ 感染症のお知らせに関しては、ホームページで随時更新しています。個人情報ということもあるため、基本的にはホームページで確認していただき、心配な方は連絡帳等でお知らせください。

マスク着用に関しては、学校医 齋藤先生の資料を御覧ください。また、令和5年5月に栃木県教育委員会から出されました新型コロナウイルス感染症マニュアルより、「学校教育活動においては、児童生徒等及び教職員にマスクの着用を求めないことを基本とする。ただし、登下校時に通勤ラッシュ等混雑した電車やバスを利用する場合や、校外学習等で医療機関や高齢者施設を訪問する場合などにおいては、マスクの着用を推奨する。また、基礎疾患があるなど様々な事情により、感染不安を抱き、マスクの着用を希望したり、健康上の理由により着用できない児童生徒もいることなどから、マスクの着脱については、差別・偏見等がないよう適切に指導する。」とあるため、学校としては、今後もマスク着用を求めません。しかし、流行期やクラス内等で感染症拡大が予測される場合は、マスクの着用を進めていきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症に関しては、文部科学省より「新型コロナウイルス感染症出席停止解除後、発症から10日を経過するまでは、当該児童生徒に対してマスクの着用を推奨すること」となっておりますので、児童生徒・教職員ともにマスクの着用を推奨します。

②歯科（歯みがき）について

○学校で、歯磨き指導とか毎日でなくてもあったらよいなと思っています。(他同様意見2件)

⇒学校では給食後、歯みがき指導をで実施しています。

内容としては、

- ・絵カードを見ながら ・音楽をかけて一定時間行う
 - ・絵カードを見ながら、絵カードと対応した場所をブラッシング
 - ・教員と一緒に手を動かす練習をしながら ・手元に鏡を置いて鏡を見ながら
- など、子どもの実態に合わせた方法で歯みがき指導を行っています。

歯みがき方法等をお問い合わせの場合は、連絡帳を通して担任へ御連絡ください。

③その他の意見

○インフルエンザワクチン接種を学校で実施してくれたら助かる。

⇒学校で行うためには、医師を学校に呼ぶ必要があり、予防接種を行う時期はどこの医療機関も医師が業務多忙のため、実施することは困難です。インフルエンザワクチン接種を希望される場合は、事前にかかりつけ医に確認いただき、かかりつけ病院で接種していただきますよう、お願いいたします。

○学校での視力検査の結果を ABC ではなく、しっかりした数字で検査をして欲しい。

⇒学校で行われる検診は、疾病のスクリーニング（無症状の者を対象に、疾患の疑いのある者を発見すること）を行い、健康状態を把握する役割があります。また、文部科学省からは視力判定を ABC（1.0 以上、1.0 未満 0.7 以上、0.7 未満 0.3 以上、0.3 未満）の区分を用いて判定して差し支えない、との通達もあります。様々な学校行事や授業等で時間がない中、限りある時間で検査を全員行うため、現行通りの方法をとらせていただきます。御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

○歯科健診の際に歯の清掃まで行ってもらえると助かります。

⇒学校で行われる検診は、疾病のスクリーニング（無症状の者を対象に、疾患の疑いのある者を発見すること）を行い、健康状態を把握する役割があります。

そのために学校歯科医の先生に来校していただき、検診を行っております。また、歯の清掃(クリーニング)は専門の機械を用いた歯科医療行為となるため、学校検診の中で行うことはできません。クリーニングを希望される方は、歯科かかりつけ医に御相談ください。

○予防接種について

⇒定期接種（四種混合や水痘など）のことでしょうか？それとも、任意接種（インフルエンザや流行性耳下腺炎など）のことでしょうか？具体的に質問をいただければ、学校医の先生方へ連絡いたしますので、担任を通して御連絡ください。